

公表日 令和4年2月1日

事業所名 どんごきっす

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●				
	② 職員の配置数は適切であるか	●				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	●			バリアフリーにはなっていないが、ヒヤリハット事例に対応し、マットや緩衝材などの整備を整えています。活動目的に合わせて空間の構造化を行っています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	●			毎日の掃除に加えて、遊具を整備し衛生面を整えています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			子ども達一人ひとりの月目標を毎週のミーティングの中で話し合っています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			昨年、メールなどの連絡手段の充実化というご意見を頂きました。現在、緊急用携帯とメールアドレスの整備が整っています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			評価内容についてはミーティングで検討しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	●				
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			法人全体で研修や勉強会を定期的に行い、資質向上に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	●			子ども達一人ひとりの月目標を立てて日々の支援に入っています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		●		標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、他所で検査等をされた場合は共有させていただいています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	●			左記の項目を支援計画に盛り込み、状況に合わせて保育所等訪問支援事業も合わせて家族支援・地域連携にも力を入れています。	家族支援の質を高めていくために、定期的な懇談に加えて、子ども達の活動の様子を知る・見る機会を増やしていきたいと考えます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	●			月目標や情報共有をしながら児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			各スタッフ役割分担が明確となっており、情報共有や検討に関して、緻密なコミュニケーションの上で立案をしています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			ここ2年間は、コロナ情勢に対応するため、感染防止対策の観点も踏まえ、プログラムが固定化しないよう取り組んでいます。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	●			お子様の状況に合わせて、安心できる大人の存在の確立、仲間と関わるきっかけの提案、子ども同士でやりとりをする機会の増やしなどを支援計画にて設定しています。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			療育現場での立ち位置が偏らないよう、日案に役割分担を明記して取り組んでいます。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			送迎などの関係上、全員ではないが、日誌を記入する上で必要は情報交換は毎日行われています。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			日誌やヒヤリハット事例を必ず記録に残しています。	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	●			6か月に1度見直しを行っています。		
関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			管理者とお子様を良く知る職員の二人体制を取って参画しています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	●			ケース数は少ないですが、連携の要請には必ず応えています。家庭と連携を取り、関係機関が事業所を訪問するケースにも対応しています。	

係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	対象児がありません。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	対象児がありません。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	●			必要に応じて、保育所等訪問支援事業を活用し、園・家庭と連携を取っています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	●			保護者の方から依頼があれば都度、対応しています。卒園するお子様に関しては、引き継ぎ書を作成し関係機関の理解に繋がる一役を担わせていただいております。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●			必要に応じて調整会議等に参加しています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			●	現在は交流する機会は設けられていません。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	●			
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			連絡ノートを活用し、子ども達の様子が分かるよう、定期的に活動写真を貼ってお伝えしています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			●	ご家庭からの相談に対しては真摯に対応していますが、家族支援プログラムについてはまだまだ勉強不足です。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約の時にお伝えし、都度、ご家庭からのご質問に答えています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	●			支援計画書の提示の際に、必ず説明の時間もいただいています。状況に合わせて補足資料も添えて、相互理解に努めています。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			相談に対しては都度、対応させて頂いています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●			今年度は感染防止対策をした中で、状況が落ち着いた8月に年長家庭を対象とした茶話会を開くことができました。
	㉝	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			連絡ノートや送迎の際に、コミュニケーションを取らせていただいています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			毎月のお便りの中で、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意しているか	●			十分注意しています。
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			連絡ノートの記載内容をより具体的にして、専門用語も極力使わないよう、伝わりやすい言葉を用いています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●	コロナ禍で地域に開かれた活動はできませんでしたが、避難訓練や地域の清掃等を実施し、地域の皆さんの目に触れる機会を作っています。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	●			危機管理委員会を選定し、多様なマニュアルの作成・修正を行っています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			火災避難訓練・地震避難訓練・不審者訓練を毎年実施しています。訓練後はお便りでご家庭へ報告させていただいています。
	㊵	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	●			服薬の開始日なども日誌に盛り込み、その経過を追えるように記録を残しています。
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	●			医師の指示ではないが、アレルギーについてスタッフ間で情報共有をして、おやつ提供に対応しています。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			ヒヤリハット委員を選定し、毎週のミーティングで事例を共有して再発防止の検討会議をしています。
	㊸	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			虐待防止委員を選定し、事業所内でも研修の機会を設けています。
	㊹	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			●	現在、虐待防止委員を中心にガイドラインを作成して整備を進めています。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。